



クレディ・スイスGTAAファンド (愛称：CSアルファ)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	複数の投資信託への投資を通じて実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主要運用対象	組入れる複数の投資信託により世界の株式、債券、通貨に実質的に投資します。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。
組入制限	①投資信託への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月20日および8月20日）に、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。

運用報告書（全体版）

第18期

決算日：2015年2月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「クレディ・スイスGTAAファンド」（愛称：CSアルファ）は、2015年2月20日に第18期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

アバディーン投信投資顧問株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251
(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdeen-asset.co.jp>

◎基準価額の推移と運用実績（2014年8月21日から2015年2月20日まで）
 設定以来の基準価額と参考指数の推移



(注) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりませんが、参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しております。参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

期	前 期 末	期 中 高 値	期 中 安 値	当 期 末
第18期	2014/8/20	2015/2/4	2014/10/20	2015/2/20
	9,080円	9,772円	8,771円	9,580円

(注) 期末基準価額は、分配金（税引前）込み。

分配実績

決算日	分配金	決算日	分配金	決算日	分配金
第1期 (2006年8月21日)	130円	第7期 (2009年8月20日)	10円	第13期 (2012年8月20日)	50円
第2期 (2007年2月20日)	350円	第8期 (2010年2月22日)	0円	第14期 (2013年2月20日)	0円
第3期 (2007年8月20日)	650円	第9期 (2010年8月20日)	0円	第15期 (2013年8月20日)	0円
第4期 (2008年2月20日)	500円	第10期 (2011年2月21日)	100円	第16期 (2014年2月20日)	0円
第5期 (2008年8月20日)	50円	第11期 (2011年8月22日)	50円	第17期 (2014年8月20日)	0円
第6期 (2009年2月20日)	10円	第12期 (2012年2月20日)	50円	第18期 (2015年2月20日)	0円
累		計		1,950円	

<基準価額の変動>

当ファンドは第18期の決算を迎え、基準価額は前期末の9,080円から当期末には9,580円、値上がり額は500円、当期の騰落率は5.5%の上昇となりました。なお、当ファンドにはベンチマークは設けておりませんので、ベンチマークとの比較はありません。

<変動要因>

主たる投資対象であるCSGTAAファンドの基準価額に連動して、当ファンドの基準価額も変動します。当期における資産別寄与では、CSGTAAファンドにおける為替および債券のポジションから基準価額に大きくプラス寄与となり、株式のポジションも小幅なプラス寄与となりました。

月間損益寄与度の推移

	2014年8月	9月	10月	11月	12月	2015年1月
株式	0.4%	-2.2%	-1.4%	2.0%	-0.5%	-0.3%
債券	1.2%	-1.4%	0.1%	0.4%	1.8%	2.9%
為替	0.6%	1.3%	-0.4%	0.7%	1.4%	0.9%

(注) 主たる投資対象であるCSGTAAファンドの月間の損益寄与度であり、当ファンドの基準価額の動きとは必ずしも一致しません。

【投資環境】

2014年8月の世界の株式市場は、初旬、ウクライナや中東情勢悪化による地政学リスクの高まりから下落してスタートしたものの、その後すぐに上昇基調に転じ、主な株式市場の多くは前月末より上昇して月末を迎えました。予想より高い第2四半期のGDP成長率を受けて+3.8%上昇し、新高値を更新したS&P500や、ECBの追加緩和姿勢を受けて上昇したEuro Stoxx 50 (+1.8%)、フランスCAC 40 (+3.2%) など、米国と欧州市場が牽引し、MSCIワールド指数は+2.0%の上昇となりました。一方、欧州周辺国の経済の弱さが報じられ、月前半の下落が大きかったイタリアMIB指数は▲0.6%下落しました。アジアでは、TOPIX (▲0.9%) が下落し、オーストラリアや香港ハンセン指数がほぼ横ばいの推移となるなど、まちまちの動きでした。新興国市場では+9.8%上昇したブラジル市場などが牽引し、MSCIエマージング指数は+2.1%で、7ヶ月連続の上昇となりました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は前月末の17%から8月末には12%まで低下しました。債券市場については、米国10年物国債の利回りは月を通して低下基調で推移しました。特に、イエレンFRB議長のハト派的コメント、緊迫化するウクライナ情勢や、米軍により空爆を開始したイラクなど中東情勢の緊張の高まりが利回り低下につながりました。その他多くの地域でも長期国債の利回りは低下しました。ECBの追加緩和期待を受け、特にイタリア国債の利回り低下が大きく、米国国債をわずかに上回る水準まで低下しました。為替市場では、主に米ドルに対してユーロは▲2.0%、英ポンドは▲1.7%、日本円は▲1.3%下落するなどし、米ドル・インデックスは+1.6%上昇しました。一方、オーストラリア・ドルやメキシコ・ペソなどの高金利通貨は米ドルに対してそれぞれ上昇しました。

9月の世界の株式市場は、地政学リスクやいくつかの経済イベントにより下落し、MSCIワールド指数は▲2.9%となりました。初旬のFRBの早期利上げ観測が市場の下落につながった米国ではS&P500が▲1.6%下落、その他、英国、日本を除くアジア市場が下落しました。地政学リスクや中国の需要減退を背景に新興国全般にも売り圧力は広がりMSCIエマージング指数は▲7.6%下落、特に、経済制裁の影響が懸念されるロシアや、ルセフ大統領が再選する見通しが高くなったブラジルでの下げが顕著でした。商品価格に影響を受けやすい市場も大きく下げ、カナダTSX 60は▲3.8%、オーストラリアASX 200は▲5.9%となりました。一方、日銀の継続的な緩和姿勢と円安を受けてTOPIXが+3.8%となった日本や、ECBの追加緩和策により欧州市場 (Euro Stoxx 50、+1.7%) は上昇しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は市場の混乱と共に上昇し、前月末の12%から9月末には16%まで上昇しました。債券市場については、夏の間に低位で推移した米国10年物国債の利回りは、雇用環境が引き続き改善を見せたことからFRBのハト派的バイアスが緩和されるとの観測が広がり、9月の前半に上昇基調で推移しました。一方、月後半では良性的

インフレ圧力や株式市場のボラティリティ上昇を受け、米国10年物国債の利回りは低下基調となりました。欧州周辺国では経済環境が悪化するも、ECBの追加緩和政策により市場に安心感が広がりました。特にイタリアの国債の利回りは引き続き低下し2.4%台の低水準まで低下しました。為替市場では、幅広い通貨に対して米ドル高基調となり、米ドル・インデックスは+3.9%上昇しました。特に、中国の需要に左右されやすい通貨は米ドルに対して下落し、ニュージーランド・ドルは▲6.6%、オーストラリア・ドルは▲6.3%となりました。ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は足許のニュージーランド・ドルの水準は持続不可能であり、正當な水準でないとの見解を示し、NZドル売り介入を実施しました。

10月の世界の株式市場は、月前半、世界経済先行き懸念や原油価格安を背景に全てのアセットクラスでボラティリティが上昇しました。後半以降は、米国及びアジア市場の上昇や、ECBや日銀の追加緩和がグローバル株式市場を支え、MSCIワールド指数は+0.6%上昇しました。FRBは予想通り量的緩和の終了を決定したものの、議事録では米ドル高への懸念が示されました。良好な企業業績や米国経済の堅調さを受けてS&P500が+2.3%上昇する一方、ドイツの予想以上の成長鈍化がユーロ圏の景気後退懸念へとつながり、欧州市場はEuro Stoxx 50が▲3.5%下落しました。堅調な中国のGDP成長を受け、オーストラリア市場(+4.4%)と香港市場(+4.6%)は上昇しました。また、主にロシア、インド、ブラジル市場の上昇により、MSCIエマージング指数は+1.1%上昇しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は月半ばのザラ場中に2011年以来となる30%まで大きく上昇する場面もありましたが、月後半には落ち着きを取り戻し、前月末の16%より低水準の14%で10月末を迎えました。債券市場については、株式市場と同様にボラティリティの高い月となりました。世界経済先行き懸念を背景に、米国10年物国債の利回りは9月末より低い水準で10月末を迎えました。特に月半ば、弱い内容となった米小売売上高を受けて、米国10年物国債の利回りはザラ場中に一時1.86%を記録する場面もありました。イタリアの経済停滞を背景に、イタリア国債もボラティリティの高い展開となりましたが、ECBの緩和策を受け、月後半には利回りは低下しました。為替市場では、米国では正式に債券購入プログラムが終了した一方、日銀とECBが金融緩和姿勢を示したことを受けて米ドル高基調となり、米ドル・インデックスは+1.1%上昇しました。幅広い通貨に対して米ドル高となる中、特に円(▲2.4%)や英ポンド(▲1.4%)の米ドルに対する下落が目立ちました。しかし、そのような中でも9月の大幅な下落からの反動で、オーストラリア・ドルは米ドルに対して+0.6%上昇しました。

11月の世界の株式市場は、日銀が緩和姿勢を示したことやGPPIFが株式への投資比率を引き上げると発表したことを受けてTOPIXが+5.8%上昇した日本や、ECBの追加金融緩和期待からEuro Stoxx 50とドイツDAXがそれぞれ+4.4%と+7.0%上昇した欧州、予想を上回ったGDPや小売売上高が発表され、雇用環境も改善するなど、堅調な経済見通しを背景にS&P500が+2.5%、Nasdaq 100が+4.3%上昇した米国市場が牽引し、MSCIワールド指数は+1.8%の上昇となりました。一方、厳密には景気後退を回避したと見られる欧州でも、引き続きイタリアで経済縮小が懸念されるなどユーロ圏はまちまちな動きとなりました。また、原油価格の下落が進行したことでエネルギー関連銘柄は下落し、幅広い通貨に対する米ドル高の影響からMSCIエマージング指数は▲1.1%下落しました。ただし、中国ではPBOC(中国人民銀行)が景気の冷え込みに配慮して銀行基準金利を引き下げ、株価は上昇していました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は小幅な変化にとどまり、10月末より0.7%低下の13.3%で11月末を迎えました。債券市場については、10月にボラティリティの高い環境を経験した後は落ち着いた動きとなりました。米国のインフレ指標の弱さを受けて米国10年物国債の利回りは10月末より低い水準で11月を迎えました。米国以外でも10年物国債の利回りは低下し、特に英国とイタリアでは11月中旬に約30ベーシスポイントの利回り低下となりました。為替市場では、米国で量的金融緩和が終了した中、日銀とECBが金融緩和姿勢を示したことで米ドル高が進み、米ドル・インデックスは1.7%上昇しました。特に円は米ドルに対して▲5.3%下落し、米国外で経済成長鈍化が懸念されたことを背景に高金利通貨への需要が低下したことから、オーストラリア・ドルは▲3.3%、メキシコ・ペソは▲3.2%、それぞれ下落しました。一方、4カ月連続で米ドルに対しての下落が続いていたニュージーランド・ドルはわずかに反発しました。

12月の世界の株式市場は、原油安や世界経済停滞懸念、ギリシャの政治不安が台頭する中、年末をむかえ、MSCIワールド指数は下落しました。主にイタリアやスペインなど周辺国の下げが大きかった欧州の他、多くの地域が下落しました。一方、経済の楽観的見通しを受けた米国や中国の追加景気刺激策への期待感から買

われたオーストラリア市場は上昇していました。MSC I エマージング指数も下落しました。原油価格の大幅な下落が影響し、主にロシアやブラジルの下げが厳しくなりました。2014年を通しては、MSC I ワールド指数は主に米国や日本市場が牽引して上昇した一方、MSC I エマージング指数は主に韓国、ブラジル、ロシアの下落により下落しました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数は原油価格の下落やギリシャの政治不安を背景に11月末の13%台から12月末には19%台まで上昇しました。月半ばのザラ場中には24%台に達する局面もありました。債券市場については、インフレ見通しの弱さやエネルギー価格の下落を受けて米国10年物国債の利回りは月前半に低下した後、米国経済見通しの回復と共に上昇したことで、11月末とほぼ同水準で年末を迎えました。年間では、2013年末の水準から約1%程度低下しました。米国以外、特に英国、日本、ドイツでは、2014年の10年物国債の利回りは穏やかに低下しました。一方、イタリアでは利回り低下が顕著で、年初と比較して約2%低下しました。為替市場では、米国経済の回復及び主要国の金融政策の違い（緩和姿勢の日本と欧州に対して米国の緩和終了）や商品価格の下落を背景に米ドル高が進み、米ドル・インデックスは上昇しました。特にメキシコ・ペソは米ドルに対して大幅に下落し、オーストラリア・ドルも下落しました。年間では、米ドル・インデックスは大幅に上昇し、特にユーロと円やメキシコ・ペソが米ドルに対して大きく下落しました。

2015年1月の世界の株式市場はいくつかの逆風にさらされ、MSC I ワールド指数は下落しました。特にスイス中銀が対ユーロで設けていた無制限介入の中止を決定したことは為替市場の混乱を招きスイス株式市場に大きなマイナスインパクトを与えました。また、下落圧力の強いコモディティ市場や、ギリシャで緊縮財政に反対する政権が誕生したことは投資家の不安材料となりました。ただし、主要な経済指標が予想より弱い結果となった米国市場が下落した一方で、ECBの量的金融緩和の恩恵を受けた欧州市場は主にドイツやフランス市場が牽引し上昇するなど地域別に差が出る展開でした。新興国市場でも、ロシア市場が反発の動きを見せる一方で商品価格の下落を背景にブラジル市場が下落するなど、地域差が激しい展開となりました。株式市場のボラティリティを表すVIX指数はギリシャの政治不安やECBの量的金融緩和、世界経済減速懸念などを受けて月中に上昇と低下を繰り返し、最終的には前月末より若干上昇した21%台で月末を迎えました。債券市場については、グローバル経済が減速傾向にあるとの兆候が重なり、期待インフレ率が低下する中、米国10年物国債の利回りは大幅に低下し、月末には1.64%台となりました。これは2013年5月以来の低水準です。その他の地域でも10年物国債の利回りは大幅に低下し、特にドイツの10年物国債の利回りは日本と同程度に低い0.3%台まで低下しました。為替市場では、グローバル経済の先行き不透明感を受けて米ドル高が進み、米ドル・インデックスは上昇しました。特にカナダ・ドルとニュージーランド・ドルは米ドルに対して大幅に下落しました。一方で、スイス中銀が対ユーロで設けていた無制限介入の中止を決定したことから、スイスフランは米ドルに対して大幅に上昇しました。また、日銀は引き続き金融緩和姿勢を示しているものの、世界的なリスク回避の動きを背景に円は米ドルに対して上昇しました。

2月、2014年10-12月期GDP速報値においてユーロ圏の景気回復が示され、ギリシャ支援を巡り融資の4か月間延長することで合意するなど欧米を中心に主要な株式指標が軒並み史上最高値を更新しています。為替はややドル高傾向、債券は低い利回り水準が維持されています。

【運用経過】

当ファンドでは、CSGTAAファンドを中心に組入れており、当ファンドの運用成果にはCSGTAAファンドの運用成果が大きく反映されます。CSGTAAファンドは独自のクオント・モデルに基づき割安な資産をロング、割高な資産をショートします。

2014年8月、株式については、8月はクレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルとダイナミック・トレンド・プログラムが株式を選好し、幅広い市場でロング・ポジションを構築していたことが利益につながり、特に月後半に上昇したイタリア市場がプラスに寄与しました。ポートフォリオ全体のスタンスは月中わずかにロング幅を縮小させました。ファンダメンタル・モデルは利益指標がより強気を示したものの、ビジネスサイクル指標が弱気を示したことや、株式のバリュエーションが引き続き割高なことを示したことから、引き続き株式に対して慎重なスタンスとなりました。債券については、ディフェンシブな債券ロング・ポジションは月を通して一貫し、主にドイツ、イタリア、カナダ、米国内

債の利回り低下から利益を得ました。多くの地域で債券ロング・ポジションを構築した一方で、ショート・ポジションを構築していた英国国債はマイナスに影響しました。ダイナミック・トレンド・プログラムは特に今夏は適度なボラティリティと利回り低下傾向が続くとして、最大配分近くまで債券選好を高め、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルも最大配分の2/3程度まで債券選好を高めました。一方、ファンダメンタル・モデルは引き続き、債券がキャッシュに対し、アウトパフォーマンスが期待できないとして、債券への配分は低位にとどまりました。為替については、月を通して穏やかな米ドルのロング・スタンスを維持しました。特にECBの追加緩和期待により7月から引き続き、ユーロが一貫して下落基調となったことで、米ドルに対するユーロのショート・ポジションがプラスに寄与しました。一方、いくつかの高金利通貨では小幅なロング・ポジションを構築しました。リスク選好指標は引き続きキャリー・トレードを選好し、イールド・ダイナミック・モデルは引き続きユーロと日本円に対する弱気を維持する一方でオーストラリア・ドルを選好したことが奏功しました。

9月、株式については、主にロング・ポジションを構築していたエマージング市場やカナダ、米国の月後半の下落がパフォーマンスにマイナスに影響しました。クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルとダイナミック・トレンド・プログラムがロング・ポジションを構築する一方、レティブ・バリュエーション・モデルは市場の下げに対応しプラスに寄与しました。ファンダメンタル・モデルは利益指標が強気を示したものの、ビジネスサイクル指標が弱気を示したことや、株式のバリュエーションが割高なことを示唆し、引き続き株式に対して慎重なスタンスとなりました。MSCIエマージング指数へのウエイトは月末にはショート・ポジションに転じていました。債券については、月後半に株式市場のボラティリティが上昇し投資家の安全資産需要が高まる以前の月前半、利回りが急上昇した局面でロング・ポジションを構築していたことが主にパフォーマンスにマイナスに影響しました。ファンダメンタル・モデルは引き続き、債券がキャッシュに対し、アウトパフォーマンスが期待できないとして、債券への弱気スタンスを示しました。ダイナミック・トレンド・プログラムは月中の利回りトレンドの転換に対応し、クレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルもリスク選好指標の悪化を受けて、月中に債券への配分を増加させました。為替については、月を通して、幅広い通貨に対して強さを見せた米ドルに対するロング・バイアスを徐々に増加させ、主にユーロや円、スイスフランのショート・ポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。キャリー・トレード及びミーン・リバージョン・プログラムが、米国の金利上昇を受けて大幅に値下がりした高金利通貨への対応に苦戦する中、モメンタム指標は奏功しました。リスク選好指標が悪化したことで、オーストラリア・ドルとニュージーランド・ドルのロング・ポジションは徐々に縮小されました。

10月、株式については、多くの市場においてロング・ポジションを構築していたことから、月前半の世界的な株式市場の下落が主にパフォーマンスにマイナスに影響しました。株式のネット・ロング・ポジションは9月には約80%程度まで高まりましたが、ダイナミック・トレンド・プログラムが株式の売りを示唆したことから、10月の第3週には約12%まで低下しました。その後徐々にポジションを高めました。市場のボラティリティの高さから慎重な積み増しとなり、月末近くでは株式のネット・ロング・ポジションは約20%となりました。ファンダメンタル・モデルは月末付近に日本市場に対する強気を示しました。利益指標は引き続き株式に対する強気を示したものの、ビジネスサイクル指標は弱気を示し、バリュエーション指標は市場が割高なことを示唆しました。債券については、月前半のボラティリティが高まった局面でロング・ポジションを構築していたことが主にパフォーマンスにプラス寄与しました。ダイナミック・トレンド・プログラムとクレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルは月を通して債券のロング・ポジションを示しました。一方、ファンダメンタル・モデルは引き続き、債券がキャッシュに対し、アウトパフォーマンスが期待できないとして、債券への弱気スタンスを示しました。イールド・カーブ・モデルは米国債券の長短金利差縮小に対応し、パフォーマンスにプラスに寄与しました。為替については、月前半の円高局面で、多くの外国通貨のショート・ポジションを構築したものの、月後半の円安局面でもショート・ポジションを継続したことが、主にパフォーマンスにマイナスに影響しました。米ドルに対しては月を通して穏やかなロング・ポジションを構築しました。キャリー・トレード・プログラムはキャリー選好へのスタンスに転換し、パフォーマンスにプラスに寄与しました。ダイナミック・トレンド・プログラムも米ドルへの強気スタンスを

示し、パフォーマンスにプラス寄与しました。一方、リスク選好指標やGDP指標はキャリー・トレードに対して弱気を示唆しました。

11月、株式については、10月の市場下落局面での配分引き下げにより、月初に23%程度としていたロング・ポジションをその後の2日間で約53%まで引き上げ、株式市場の上昇を捉えられたことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。当月の上昇分の約6割は株式配分効果で、主に米国と日本市場の上昇がプラス寄与していました。一方、ショート・ポジションを構築していたドイツ市場の反発はパフォーマンスにマイナスに影響しました。ファンダメンタル・モデルは堅調な利益指標が株式市場の見通し改善を示唆した一方、ビジネスサイクル指標とバリュエーション指標は10月に引き続き株式に対する弱気を示しました。足許の市場の上昇トレンドを受けて、トレンド指標は大幅なロング・ポジションを示唆しました。レラティブ・バリュエーション・モデルは多くの国に対して米国市場を選好し、特に売り圧力の強いエマージング市場に対する米国の優位性を示していました。債券については、ロング・ポジションを構築していた米国債券の利回り低下がパフォーマンスに寄与する一方、英国の利回り低下と日本の利回り上昇がマイナスに影響したことで、より穏やかな利益を得ました。債券のロング・ポジションは前月に引き続きダイナミック・トレンド・プログラムとクレディティ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルが示唆したものです。ファンダメンタル・モデルはどの指標に対しても明確な確信度を示さない中で緩やかなショート・ポジションを示しました。為替については、主に月を通して弱気スタンスを構築していた円と英ポンドの米ドルに対する下落がパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、月初の米ドルに対するカナダ・ドルの下落はパフォーマンスにマイナスに影響しました。米ドルに対して安定的な動きを見せたユーロとスイスフランは月中徐々にショート・ポジション幅を縮小させました。ファンダメンタル指標は米ドルに対する強気を示した一方で、キャリー指標はキャリー・トレードに対して警戒のスタンスを示しました。

12月、株式については、月前半の世界的な下落局面でロング・ポジションを構築していたことがパフォーマンスにマイナスに影響しました。月前半の市場の混乱を受けて、月初に43%程度あったロング・ポジションを月半ばまでにニュートラルな水準まで低下させましたが、主に北米市場のマイナスの影響は免れず、特にエネルギー価格の下落を背景に大きく下落したカナダのロング・ポジションがマイナスに影響しました。ファンダメンタル・モデルは利益指標が引き続き株式市場の見通し改善を示した一方、ビジネスサイクル指標はニュートラルを示唆し、バリュエーション指標は10月以降変化がなく、株式に対する弱気を示しました。トレンド指標は大幅なロング・ポジションから徐々にニュートラルなスタンスに移行しました。レラティブ・バリュエーション・モデルは引き続き多くの国に対して米国市場を選好し、特に売り圧力の強いエマージング市場に対する米国の優位性を示していました。債券については、投資家の安全資産選好が高まった第2週目と最終週での利回り低下局面でロング・ポジションを構築していたことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。主に、ドイツと日本の利回り低下の恩恵を受けた他、カナダやイタリアの利回り低下もプラスに寄与しました。債券のロング・ポジションは引き続きダイナミック・トレンド・プログラムとクレディティ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルが示唆したものです。ファンダメンタル・モデルはどの指標に対しても明確な確信度を示さない中でニュートラルなスタンスを示唆しました。為替については、引き続き米ドル高が進んだことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。特にメキシコ・ペソ、オーストラリア・ドル、カナダ・ドルとユーロのショート・ポジションが奏功しました。ファンダメンタル・モデルは利回りトレンド指標や経済成長指標が引き続き米ドルに対する若干の強気を示しました。キャリー指標はキャリー・トレードに対して警戒のスタンスを示唆したものの、大幅に下落したメキシコ・ペソやユーロに対してはロング・スタンスを示しました。

2015年1月、株式については、堅調に推移した欧州市場に対して、軟調な推移となった米国市場に比重を置くポジションを構築していたことがパフォーマンスにマイナスに影響しました。一方、平均回帰指標と逆張り指標の示唆により、市場が大きく崩れる前にショート・ポジションを構築し、その後の反発局面でロング・ポジションへ転換したスイス市場はプラスに寄与しました。全体的には、主に欧州以外の市場が方向感の出ていく動きとなったことで、月前半、株式への配分はニュートラルとなりましたが、月半ばには約15%のロング・ポジションを構築しました。ファンダメンタル・モデルは利益指標が引き続き株式市場の見通し改善を示し、ビジネスサイクル指標も穏やかながら株式市場に強気な見方を示唆しました。一方、バリュエーション指標は

昨年の10月以降変化はなく、株式に対する弱気を示しました。債券については、投資家の安全資産選好の高まりを背景に世界的に利回りが低下する中、ディフェンシブなスタンスにより、多くの市場に対してロング・ポジションを構築していたことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。主に、米国、カナダ、ドイツ市場の利回り低下から利益を得た一方、日本市場は若干のマイナスとなりました。債券のロング・ポジションは引き続きダイナミック・トレンド・プログラムとクレディ・スイス・リスク選好指数に基づくタクティカル・アセット・アロケーション・モデルが示唆したもので、ファンダメンタル・モデルは昨年11月以降引き続き、どの指標に対しても明確な確信度を示さずニュートラルなスタンスを示しました。為替については、市場にて米ドル高傾向が続き、ポートフォリオが米ドルの配分を高めていたことがパフォーマンスにプラスに寄与しました。また、カナダ中銀が予想外の利下げを行ったことから、ショート・ポジションを構築していたカナダ・ドルがプラスに寄与しました。一方、スイス中銀が対ユーロで設けていた無制限介入の中止を決定したことで、ショート・ポジションを構築していたスイスフランはマイナスに影響しました。ファンダメンタル指標は相対的に高金利通貨に対する弱気を示唆しました。

ネットエクスポージャーの推移

	2014年8月29日	9月30日	10月31日	11月28日	12月30日	2015年1月30日
株 式	60.0%	64.0%	22.0%	37.0%	1.0%	20.0%
債 券	167.0%	117.0%	178.0%	241.0%	204.0%	166.0%
為 替	-24.0%	-62.0%	-45.0%	-37.0%	-39.0%	-41.0%

(注) 主たる投資対象であるCSGTAAファンドについて記載しています。

【収益分配金】

基準価額の水準等を勘案し、第18期末の収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

【今後の市場見通しと投資戦略】

当ファンドの主たる投資対象であるCSGTAAファンドについては、引き続きクオンツ・モデルによってグローバル市場をさまざまなファクターに基づいて分析し、割安と見られる資産をロング、割高と見られる資産をショートしていきます。クレディ・スイスGTA戦略の鍵となる特徴は、経済状況の変化に対する適応能力です。同投資戦略におけるファクター・ウェイトは、ダイナミックな統計的手法による予測力を基準として変更されます。このようにして、市場環境の変化を期待リターン及びリスクへ適切に反映させる方針です。市場環境によって個々のファクターの有効性が大きく変動する、もしくは中長期で見たモデルの有効性が低下していく可能性はありますが、GTAコア戦略に加えて導入されたレラティブ・トレーディング・アービトラージ(RTA)戦略により投資対象市場が拡大するとともに、ファンダメンタル指標だけでなく市場の値動きを捉えるテクニカル指標に基づいた短期的な売買が可能となっています。

当ファンドのリスクについて現状では6%程度としており、中長期的な実現ベースの目標水準に達しているため、当面は同程度で推移させる予定です。

(上記の見通しと戦略は、2015年2月20日時点のものです。)

当報告書はアバディーン投信投資顧問株式会社独自の分析に基づき作成したものです。信頼できる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性が保証されるものではありません。当報告書で示した見通しおよび分析結果等については、予告なく変更する場合があります。また、当報告書の過去の収益率等は、将来の投資成果を保証するものではありません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		投資信託 受益証券 組入比率 (%)	純資産 総額 (百万円)
	(分配落) (円)	税込 分配金 (円)	期中 騰落率 (%)		期中 騰落率 (%)		
14期 (2013年2月20日)	9,660	0	△2.5	10,240	0.1	98.0	5,361
15期 (2013年8月20日)	9,362	0	△3.1	10,246	0.1	98.9	3,932
16期 (2014年2月20日)	8,996	0	△3.9	10,252	0.1	98.7	3,022
17期 (2014年8月20日)	9,080	0	0.9	10,257	0.0	98.5	1,234
18期 (2015年2月20日)	9,580	0	5.5	10,261	0.0	98.5	1,254

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 純資産の単位未満は切捨て。騰落率及び各比率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

(注4) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりません。参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しておりますが当ファンドにおいては参考指数を目指して運用するものではありません。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率 (%)
	(円)	騰落率 (%)		騰落率 (%)	
(期首)					
2014年8月20日	9,080	—	10,257	—	98.5
2014年8月29日	9,202	1.3	10,257	0.0	98.5
2014年9月30日	8,988	△1.0	10,258	0.0	98.7
2014年10月31日	8,832	△2.7	10,258	0.0	98.7
2014年11月28日	9,133	0.6	10,259	0.0	98.8
2014年12月30日	9,347	2.9	10,260	0.0	99.0
2015年1月30日	9,655	6.3	10,260	0.0	99.1
(期末)					
2015年2月20日	9,580	5.5	10,261	0.0	98.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下で四捨五入。

(注3) 当該ファンドではベンチマークを設定しておりません。参考指数として1ヶ月円LIBORを記載しておりますが当ファンドにおいては参考指数を目指して運用するものではありません。

◎ 1口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第18期 (2014年8月21日～ 2015年2月20日)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
平均基準価額	9,193	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	35 (12) (20) (3)	0.382 (0.131) (0.218) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用 (監査費用)	5 (5)	0.054 (0.054)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
合計	40	0.436	

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託受益証券等が支払った費用を含みません。

◎売買及び取引の状況（2014年8月21日から2015年2月20日まで）

投資信託受益証券

		買付口数 (千口)	買付金額 (千円)	売付口数 (千口)	売付金額 (千円)
外国	ケイマン（邦貨建）	—	—	5	51,674

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◎主要な売買銘柄（2014年8月21日から2015年2月20日まで）

投資信託受益証券

銘柄名	買付		売付	
	口数 (口)	金額 (千円)	口数 (口)	金額 (千円)
外国 CS GTAA FUND（邦貨建）	—	—	5,500	51,674

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◎当期中の利害関係人との取引状況等（2014年8月21日から2015年2月20日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	売 買 金 額 等 (単位：百万円)					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A (%)	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C (%)
投資信託受益証券等	—	—	—	51	—	—

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

(2) 期中の利害関係人の発行する有価証券等

種 類	売 買 金 額 等 (単位：百万円)		
	買 付 額	売 付 額	作成期末保有額
投資信託受益証券等	—	—	1

*表示単位：百万円

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第 18 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 A	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 B	—千円
B/A	—%

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る上記利害関係人とは、アバディーン・グローバル・サービスズ・エス・エイです。

◎組入資産の明細（2015年2月20日現在）

外国投資信託等

銘 柄 名	前 期 末	当 期		末
	口 数 (口)	口 数 (口)	評 価 額 (千円)	組入比率 (%)
CS GTAA FUND (邦貨建)	130,768	125,268	1,234,390	98.4
アバディーン・リクイディティ・ ファンド(ルクス)米ドル(米ドル建)	10	10	外貨建評価額 (千米ドル)	0.1
			邦貨換算金額 (千円)	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 口数・金額の単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

(2015年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額 (千円)	比 率 (%)
投 資 信 託 受 益 証 券	1,234,390	97.9
投 資 証 券	1,353	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,538	2.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,260,281	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (1,353千円) の投資信託財産総額 (1,260,281千円) に対する比率は0.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年2月20日における邦貨換算レートは1米ドル=119.10円です。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月20日現在)

項 目	第 18 期 末
(A) 資 産(円)	1,260,281,681
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	24,537,402
投資信託受益証券(評価額)	1,234,390,872
投 資 証 券(評価額)	1,353,401
未 収 利 息	6
(B) 負 債	5,324,217
未 払 信 託 報 酬	4,622,217
そ の 他 未 払 費 用	702,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,254,957,464
元 本	1,310,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 55,042,536
(D) 受 益 権 総 口 数(口)	131,000
1口当たり基準価額(C/D)(円)	9,580

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(注1) 期首元本額(円) 1,360,000,000

 期中追加設定元本額(円) 0

 期中一部解約元本額(円) 50,000,000

(注2) 1口当たり純資産額(円) 9,580

(注3) 元本の欠損(円) 55,042,536

(注4) 当期末における未払信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1口(元本10,000円)当たりの費用明細」をご覧ください。

◎損益の状況

当期(2014年8月21日から2015年2月20日まで)

項 目	第 18 期
(A) 配 当 等 収 益(円)	1,460
受 取 利 息	1,460
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	70,845,565
売 買 益	71,022,508
売 買 損	△ 176,943
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,324,217
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	65,522,808
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 155,791,898
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	35,226,554
(配 当 等 相 当 額)	(1,004,167)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,222,387)
(G) 合 計 (D+E+F)	△ 55,042,536
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 55,042,536
追 加 信 託 差 損 益 金	35,226,554
(配 当 等 相 当 額)	(1,004,167)
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,222,387)
分 配 準 備 積 立 金	16,469,874
繰 越 損 益 金	△ 106,738,964

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定金額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期における信託報酬(消費税等相当額を含む)の簡便法による内訳は、「1口(元本10,000円)当たりの費用明細」をご覧ください。

(注5) 収益分配金の計算過程
 費用控除後の配当等収益(円) 1,460
 費用控除後の有価証券売買等損益(円) 0
 信託約款に規定する収益調整金(円) 1,004,167
 分配準備積立金(円) 16,468,414
 分配対象収益(円) 17,474,041
 分配対象収益(1口当たり)(円) 133
 分配金(円) 0
 分配金(1口当たり)(円) 0

◎分配原資の内訳

(単位：円・%、1口当たり・税引前)

項目	第18期
	(2014年8月21日～2015年2月20日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

◇復興特別所得税についてのお知らせ

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、並びに地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

なお、復興特別所得税に係る記載がされた目論見書の再交付をご希望される受益者の方につきましては、お申し出頂ければ再度、送付させていただきますので、その旨を販売会社までお申し出ください。

◇「運用報告書2段階化」についてのお知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、2014年12月1日付で投資信託約款に所要の変更を行い、以降は運用報告書に記載すべき事項のうち、重要な事項を記載した「交付運用報告書」を作成しお届けしました。

また、2014年12月1日以降作成分の「運用報告書(全体版)」は委託会社のホームページでご覧いただけますが、書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

参考情報 投資する外国投資信託等およびその概要

ファンド名	CS GTAAファンド
形態	ケイマン籍/円建て/外国投資信託
主な投資対象	世界の主要な証券取引所に上場している株価指数先物、債券先物、通貨先物、国内外の短期金融資産等
運用の基本方針	世界の株式、債券、通貨に実質的に投資することによって中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 先物全体のレバレッジは運用資産総額の6倍を超えないこととします。 株価指数先物に関わるレバレッジは運用資産総額の2.5倍を超えないこととします。 一つの先物のロングあるいはショートポジションの額の絶対値（ネットポジション）は、株価指数先物の場合、ファンドの運用資産総額の50%、債券先物は100%、通貨先物は75%を、それぞれ超えないこととします。
設定日	平成18年6月30日
決算日	9月末
分配方針	毎年2月、8月に純資産価格の水準、金利等市況動向を勘案し分配を行います。ただし、分配対象額が小額の場合には分配を行わないことがあります。
運用報酬等	<ul style="list-style-type: none"> 運用報酬 運用資産総額に対し、年率0.035%が運用報酬としてかかります。 成功報酬 運用報酬等に加え、純資産価格がハードルバリュース*1を上回った場合に、その超過額の20%程度に発行済み受益権口数を乗じた金額が、成功報酬として別途かかります。 投資顧問報酬 運用資産総額に対し、年率約0.50%が投資顧問報酬としてかかります。 ※運用報酬等は将来的に変更になる場合があります。
その他費用	<p>事務管理費用、保管費用、受託費用等 運用資産総額に対し、合計で年率約0.115%かかります。 ※その他費用は将来的に変更になる場合があります。</p>
申込手数料	ありません。
受託会社	メイプルズ・ファイナンス・リミテッド
管理会社	トータル・アルファ・インベストメント・ファンド・マネジメン・カンパニー・エス・エイ
投資顧問会社	クレディ・スイス・アセット・マネジメン・エルエルシー
保管銀行	SMBCニッコウ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エイ
管理事務代行会社	SMBCニッコウ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エイ
トレーディング・カンパニー	<p>NKNDトレーディング・リミテッド CS GTAAファンドの投資は、受託会社の100%子会社であるトレーディング・カンパニーを通じて行われます。</p>

※1 ハードルバリューとは、計算日とその前計算日の加重平均したCS GTAAファンドの買付け価格にハードルレート・インデックス*2を乗じたものです。

※2 ハードルレート・インデックスとは、計算日の前四半期の最終営業日の1ヵ月円LIBORを、計算日の前四半期の最終営業日から計算日までの日数を考慮して指数化したものです。

フ ァ ン ド 名 形 態	アバディーン・リクイディティ・ファンド (ルクス) 米ドル
主 な 投 資 対 象	ルクセンブルグ籍/米ドル建て 外国投資証券
運 用 の 基 本 方 針	国外の公社債およびCP、CDを含む短期金融資産等
設 定 日	主として国外の公社債および短期金融資産等に投資することにより安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。
決 算 日	昭和59年9月17日
分 配 方 針	原則毎年3月31日
管 理 費 用	分配は行いません。
そ の 他 費 用	原則として、ありません。
申 込 手 数 料	事務管理費用、保管費用等
管 理 会 社	原則として、ありません。
投 資 顧 問 会 社	アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ
管 理 事 務 代 行 会 社	アバディーン・インターナショナル・ファンド・マネジャーズ・リミテッド
保 管 銀 行	登録・名義書換事務代行会社： アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ 管理事務代行会社： ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ (登録・名義書換事務代行を除きます。)
	ステート・ストリート・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ

参考情報

1. クレディ・スイスGTAAファンドが投資対象とするCS GTAAファンドの状況

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
(設 定 日) 2006年6月30日	円 10,000	円 —	% —
1 期 (2006年9月29日)	10,070	150	2.2
2 期 (2007年9月28日)	10,451	980	13.5
3 期 (2008年9月30日)	9,808	728	0.8
4 期 (2009年9月30日)	9,664	0	△ 1.5
5 期 (2010年9月30日)	10,123	0	4.7
6 期 (2011年9月30日)	10,066	326	2.7
7 期 (2012年9月28日)	9,853	185	△ 0.3
8 期 (2013年9月30日)	9,284	0	△ 5.8
9 期 (2014年9月30日)	9,216	0	△ 0.7
10期 (2015年2月20日現在)	9,860	0	7.0

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は分配金込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額 (分 配 落)	分 配 金	騰 落 率
2014年2月末	円 9,185	円 —	% —
3月末	8,867	—	△3.5
4月末	8,911	—	△3.0
5月末	9,051	—	△1.5
6月末	9,165	—	△0.2
7月末	9,220	—	0.4
8月末	9,432	—	2.7
9月末	9,216	—	0.3
10月末	9,096	—	△1.0
11月末	9,386	—	2.2
12月末	9,667	—	5.2
2015年1月末	10,005	—	8.9
(現 在 日) 2015年2月20日	9,860	—	7.3

(注1) 基準価額は1口当たりで分配落。

(注2) 騰落率は2014年2月末(分配落)比で分配込み。

(注3) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) CS GTAAファンドの貸借対照表の状況 (2014年9月30日現在)

クレディ・スイスGTAAファンドは、CS GTAAファンドの投資信託受益証券に投資しています。
(単位：円)

資産	
投資有価証券	1,167,375,172
資産合計	1,167,375,172
負債	
投資顧問料	105,719
委託者報酬	1,783,796
受託者報酬	389,938
監査報酬等	2,467,254
その他費用	835,896
負債合計	5,582,603
純資産額 (資産－負債)	1,161,792,569

2) CS GTAAファンドの損益の状況

(単位：円)

(1) 前期末純資産総額	1,171,067,858
(2) 損益計算書 (2014年4月1日から2014年9月30日まで)	
投資収益	
収入	
受取利息	0
収益合計	0
費用	
投資顧問料	743,980
委託者報酬	12,551,074
受託者報酬	1,544,968
監査報酬等	2,574,588
その他費用	2,474,629
費用合計	19,889,239
投資純損失	△ 19,889,239
実現および未実現損益	
有価証券、先物取引に係る実現純損益	△ 101,023,638
有価証券、先物取引に係る未実現純損益	135,926,045
実現および未実現損益合計	34,902,407
運用による純資産増減額	15,013,168
(3) 元本増減額	
追加・解約による純資産増減額	△ 24,288,457
(4) 2014年9月30日現在 純資産額	1,161,792,569

3) CS GTAAファンドの組入資産の明細

(2014年9月30日現在)

通貨	銘柄名	株数	評価単価	評価額
円	NKND TRADING LIMITED	株 89,651	円 13,021.2819	円 1,167,375,172

1口当たり情報

(2014年9月30日現在)	
1口当たり純資産額	9,216

CS GTAAファンドが投資対象とするNKND TRADING LIMITEDの状況

(1) 信託財産の状況

(2014年9月30日現在)

通貨	円
銀行預金 (ルクセンブルグ)	32,946,255
海外宛資金 (信託口座) AUD	△ 12,284,837
海外宛資金 (信託口座) CAD	348,284
海外宛資金 (信託口座) HKD	207,267
海外宛資金 (信託口座) JPY	237,287,107
海外宛資金 (信託口座) MXN	401,183
海外宛資金 (信託口座) SGD	△ 992,564
海外宛資金 (信託口座) ZAR	△ 762,410
海外宛資金 (信託口座) SEK	581,076
海外宛資金 (信託口座) CHF	△ 405,762
海外宛資金 (信託口座) GBP	△ 3,009,811
海外宛資金 (信託口座) USD	11,817,905
海外宛資金 (信託口座) EUR	238,601
流動性資金合計	266,372,294
資産	
国債証券	900,050,318
運用資産合計	1,166,422,612
評価損益 (先物取引)	952,560
運用商品合計	952,560
資産合計	1,167,375,172
負債	—
負債合計	—
純資産額	1,167,375,172
元本	1,202,266,323
剰余金	△ 34,891,151

(2) 組入資産の明細
有価証券

(2014年9月30日現在)

種 類	通 貨	銘 柄 名	券 面 総 額	評 価 額
国債証券	JPY	JAPAN T-BILL 0 10NOV14 SER471	円 900,000,000	円 900,050,318
合計	—	—	900,000,000	900,050,318

先物取引

(2014年9月30日現在)

銘 柄 名	通 貨	売 買	枚 数	評 価 額	評 価 損 益
<Futures on currencies>			枚	円	円
AUSTRALIAN DOLLAR. IMM. DEC14	USD	買	20	189,909,399	△9,125,630
CANADIAN DOLLAR. IMM. DEC14	USD	売	4	39,185,500	240,724
EURO CURRENCY. IMM. DEC14	USD	売	22	382,149,445	5,895,003
JAPANESE YEN. IMM. DEC14	USD	売	19	237,601,485	4,592,905
MEX PESO. IMM. DEC14	USD	買	8	32,261,400	△ 782,352
NEW B-POUND. IMM. DEC14	USD	買	1	11,106,132	△ 4,682
NEW ZEALAND DOLLAR. IMM. DEC14	USD	売	1	8,439,566	334,825
SWISS FRANC. IMM. DEC14	USD	売	12	172,730,454	1,860,140
US DLR INDEX. FINEX. DEC14	USD	買	12	112,548,564	1,484,390
合 計			—	—	4,495,323
<Futures on interest rates>			枚	円	円
AUSTR. 10YT-BD 6pc. SFE. DEC14. 140100	AUD	買	25	232,933,190	2,332,572
AUSTR. 3YT-BD 6pc. SFE. DEC14. 140100	AUD	買	1	9,325,550	25,976
CANADA GOV BOND. ME. DEC14	CAD	買	9	119,989,453	△ 465,825
EURO BOBL. EUREX. DEC14	EUR	買	14	248,397,908	530,212
EURO BTP FUTURE. EUREX. DEC14	EUR	買	3	54,098,394	84,015
EURO BUND. EURX. DEC14	EUR	買	11	228,285,898	1,396,319
EURO BUXL. 30Y BND. EUREX. DEC14	EUR	買	2	39,507,816	280,373
GILT. LIFFE. DEC14	GBP	売	2	40,220,497	△ 202,900
SCHATZ. EUREX. DEC14	EUR	買	14	215,664,882	99,240
US T-BONDS. CBT. DEC14	USD	買	3	45,402,472	△ 157,292
US T-NOTES 10YR. CBT. DEC14	USD	買	11	150,170,433	526,571
US T-NOTES 2YR. CBT. DEC14	USD	買	6	143,695,850	20,509
US T-NOTES 5YR. CBT. DEC14	USD	売	10	129,449,023	△ 427,422
合 計			—	—	4,042,348

銘 柄 名	通 貨	売 買	枚 数	評 価 額	評 価 損 益
<Futures on stock indices>			枚	円	円
AMSTERDAM INDEX. EOE. OCT14	EUR	売	2	23,212,786	201,721
CAC 40. EOP. MONEP. OCT14	EUR	売	1	6,044,707	80,503
E-MINI MIDCAP 400. IMM. DEC14	USD	買	4	60,299,188	△1,163,134
E-MINI S+P. IMM. DEC14	USD	買	42	452,555,760	△4,408,258
EURO STOCK INDEX DJ. EURX. DEC14	EUR	売	8	35,288,320	594,060
FTSE INDEX 100. LIFFE. DEC14	GBP	買	8	94,245,321	△2,007,643
FTSE JSE TOP40. SAF. DEC14	ZAR	買	9	39,074,629	△1,421,511
FTSE/MIB INDEX. MLN. DEC14	EUR	買	1	14,240,802	△ 346,998
HANG SENG H-SHARES. HK. OCT14	HKD	買	1	7,277,627	△ 234,671
HANG SENG INDEX. HK. OCT14	HKD	売	3	48,245,026	2,820,987
IPC INDEX MEX BOLSA. MDX. DEC14	MXN	買	8	29,276,409	△ 143,977
MSCI EAFE MINI. NYL. DEC14	USD	買	1	10,066,095	△ 244,553
MSCI EMERGING MKTS MINI. NYL. DEC14	USD	売	32	175,352,159	4,125,611
MSCI SING IX ETS. SGX. OCT14	SGD	売	1	6,349,346	34,385
NIKKEI INDEX 225. OSE. DEC14	JPY	売	2	32,360,000	△ 270,000
OMXS30. OMX. OCT14	SEK	買	5	10,535,038	△ 109,233
RUSSEL 2000 MINI. ICE. DEC14	USD	買	3	36,509,085	△ 658,707
S+P CNX NIFTY. SGX. OCT14	USD	売	9	15,733,833	172,491
S+P/TSX60 INDEX. ME. DEC14	CAD	買	9	152,060,245	△4,067,658
SPI 200. SFE. DEC14	AUD	買	3	37,920,382	△1,385,317
SWISS MARKET INDEX. EUREX. DEC14	CHF	買	1	10,091,454	△ 65,558
TAIWAN INDEX MSCI. SGX. OCT14	USD	買	8	28,352,917	△ 367,651
TOPIX. OSE. DEC14	JPY	買	8	106,120,000	1,280,000
合 計			—	—	△7,585,111
総 合 計			—	—	952,560

*本表は「SMBC Nikko Bank (Luxemburg) S.A」から提供を受けた情報をもとに作成しております。

2. クレディ・スイスG T A Aファンドが投資対象とするアバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの状況

◎最近1年間の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率
	米ドル	%
2014年2月末	1,134,68515	—
3月末	1,134,83861	0.0
4月末	1,134,97630	0.0
5月末	1,135,12688	0.0
6月末	1,135,26152	0.1
7月末	1,135,40658	0.1
8月末	1,135,54758	0.1
9月末	1,135,68176	0.1
10月末	1,135,82527	0.1
11月末	1,135,95730	0.1
12月末	1,136,11388	0.1
2015年1月末	1,136,26600	0.1
(現在日) 2015年2月20日	1,136,37252	0.1

(注1) 基準価額は1口当たり、騰落率は2014年2月末比。

(注2) 騰落率は小数第2位以下四捨五入。

1) アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの損益の状況

クレディ・スイスG T A Aファンドは、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの投資証券に投資していますが、以下の内容は、アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドルの全てのクラスの投資証券の内容を合算しています。

(1) 前期末（2013年3月31日）純資産額 2,152,673千米ドル

(2) 損益計算書（2013年4月1日から2014年3月31日まで）（単位：千米ドル）

収益		
受取利息		6,185
その他収益		3
収益合計		6,188
費用		
委託者報酬		2,843
管理報酬		292
保管費用		58
監査報酬等		428
その他費用		682
費用合計		4,303
投資純利益		1,885
実現および未実現損益		
有価証券等に係る未実現損益	△	723
実現および未実現損益合計	△	723
運用による純資産増減額		1,162
(3) 元本増減額		
追加・解約による純資産増減額	△	227,805
(4) 2014年3月31日現在 純資産額		1,926,030

2) <組入資産の明細>

(2014年3月31日現在)

銘 柄 名	償還日/満期日	額 面 金 額	評 価 額
<Bonds>			千米ドル
Bank of Montreal (EMTN)	29/04/2014	4,650,000	4,655
BNP Paribas (MTN)	20/12/2014	10,000,000	10,189
Caisse des Depots et Consignations (EMTN)	25/11/2014	10,000,000	10,012
Commonwealth Bank of Australia	17/09/2014	1,057,000	1,058
Credit Agricole Home Loan SFH	21/07/2014	28,200,000	28,259
DBS Bank (EMTN)	05/04/2014	13,000,000	13,000
Eurofima	27/03/2015	3,500,000	3,509
FMS Wertmanagement (EMTN)	01/04/2014	4,000,000	4,000
GlaxoSmithKline Capital	15/04/2014	272,000	272
ING Bank	09/06/2014	4,150,000	4,161
Kommunalbanken	26/01/2015	3,950,000	3,950
Kommunalbanken	26/01/2015	1,200,000	1,200
Landeskreditbank Baden-Wuerttemberg Foerderbank (EMTN)	02/05/2014	16,750,000	16,755
National Australia Bank	22/01/2015	10,000,000	10,020
National Australia Bank	11/04/2014	5,000,000	5,001
Nederlandse Financierings Maatschappij voor Ontwikkelingslanden (EMTN)	02/03/2015	5,000,000	5,042
Nederlandse Waterschapsbank (EMTN)	27/05/2014	34,000,000	34,020
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	16,000,000	16,003
Nederlandse Waterschapsbank	06/11/2014	5,000,000	5,004
Nederlandse Waterschapsbank	27/10/2014	3,725,000	3,726
Nordea Bank	13/11/2014	1,250,000	1,276
Rabobank Nederland	13/05/2014	5,000,000	5,023
Royal Bank of Canada (MTN)	06/01/2015	3,500,000	3,505
SSIF Nevada	14/04/2014	20,000,000	20,005
Statoil	15/04/2014	10,743,000	10,758
Sumitomo Mitsui Banking	22/07/2014	15,500,000	15,542
Svenska Handelsbanken	10/06/2014	3,550,000	3,581
WestphaliaLand Nordrhein-Westfalen (EMTN)	03/09/2014	35,400,000	35,467
合 計			274,993
<Money Market Instruments>			千米ドル
ABN Amro Bank	07/04/2014	20,000,000	19,998
ABN Amro Bank	30/07/2014	9,000,000	8,991
Agence Centrale Organismes de Securite Sociale	07/04/2014	25,000,000	24,999
AMP Bank	30/06/2014	10,000,000	9,995
Bank of Tokyo Mitsubishi	27/05/2014	15,000,000	14,994
Banque Federative du Credit Mutuel	21/05/2014	40,000,000	39,986
Barclays Bank	06/10/2014	18,000,000	17,943

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
BMW Finance	14/04/2014	25,000,000	24,999
BMW Finance	30/06/2014	10,000,000	9,994
BNP Paribas	17/06/2014	37,500,000	37,482
BNP Paribas Fortis	28/04/2014	13,000,000	12,998
BPCE	11/08/2014	25,000,000	24,972
Caisse des Depots et Consignation	29/04/2014	30,000,000	29,996
Citibank	19/05/2014	46,500,000	46,500
Credit Agricole	24/04/2014	30,000,000	29,995
Credit Suisse	03/12/2014	18,000,000	17,936
Credit Suisse	14/07/2014	15,000,000	14,991
DBS Bank	28/07/2014	15,000,000	14,989
Deutsche Bank	05/06/2014	25,000,000	24,990
DZ Privatbank	30/05/2014	50,000,000	49,979
DZ Privatbank	17/06/2014	30,000,000	29,985
Eurofima	25/04/2014	23,000,000	22,998
Fingrid	07/04/2014	10,000,000	10,000
ING Bank	21/05/2014	15,000,000	14,990
Macquarie Bank	26/08/2014	18,000,000	17,976
Mitsubishi UFJ Trust and Banking	16/04/2014	50,000,000	49,995
Mizuho Bank	15/04/2014	25,000,000	24,998
Mizuho Bank Sydney	28/04/2014	20,000,000	19,996
Mizuho Bank Sydney	17/06/2014	33,000,000	32,983
Mizuho Bank Sydney	28/05/2014	10,000,000	9,996
Nationwide Building Society	12/05/2014	17,000,000	16,995
Nordea Bank	09/06/2014	15,000,000	14,994
Nykredit Bank	19/05/2014	20,000,000	19,994
Oversea Chinese Banking	28/04/2014	30,000,000	29,995
Oversea Chinese Banking Sydney	19/05/2014	20,000,000	19,994
Pohjola Bank	23/04/2014	16,000,000	15,998
Pohjola Bank	27/05/2014	15,000,000	14,995
Pohjola Bank	31/07/2014	12,000,000	11,990
Pohjola Bank	13/06/2014	9,500,000	9,495
Pohjola Bank	07/04/2014	8,000,000	8,000
Pohjola Bank	09/04/2014	7,600,000	7,600
Pohjola Bank	30/05/2014	3,000,000	2,999
Schlumberger Finance	25/06/2014	30,000,000	29,986
Skandinaviska Enskilda Banken	27/05/2014	9,000,000	8,996
Societe Generale	06/06/2014	25,000,000	24,990
Societe Generale London	27/05/2014	25,000,000	24,991

銘 柄 名	償還日／満期日	額 面 金 額	評 価 額
			千米ドル
Sumitomo Mitsui Banking	30/05/2014	30,000,000	29,988
Sumitomo Mitsui Banking	11/06/2014	30,000,000	29,988
Suncorp-Metway	11/08/2014	30,000,000	29,961
Suncorp-Metway	21/07/2014	4,450,000	4,445
Suncorp-Metway	26/06/2014	1,500,000	1,499
Unilever	21/07/2014	35,000,000	34,973
Unilever	14/05/2014	30,000,000	29,992
Unilever	04/08/2014	15,000,000	14,986
Unilever	05/11/2014	15,000,000	14,970
Wells Fargo Bank International	27/08/2014	40,000,000	40,000
Zurich Finance UK	28/05/2014	20,000,000	19,993
Zurich Finance USA	13/05/2014	20,000,000	19,994
Zurich Finance USA	23/06/2014	10,000,000	9,995
合 計			1,253,440
総 合 計			1,528,433

<為替予約取引>

種 類	(2014年3月31日現在)		
	購 入 額	売 却 額	評 価 損 益
為替予約取引	米ドル	円	千米ドル
	—	—	—
小 計	—	—	—
総 合 計	—	—	—

<その他資産・負債>

(2014年3月31日現在)

種 類	金 額
	千米ドル
Cash at banks	298,359
Interest receivable	776
Receivable on reverse repurchase agreements	100,724
Other assets	79
Liabilities	△ 2,341
(Taxes and expenses payable)	(△ 410)
(Other liabilities)	(△ 1,931)
合 計	397,597
	千米ドル
総 合 計	1,926,030

*本表は、「アバディーン・グローバル・サービス・エス・エイ」から提供を受けた情報をもとに作成しております。